



カケハシ・プロジェクト（米国） スポーツ招へい（柔道）の記録

1. プログラム概要

【目的】将来を担う米国の柔道関係者が、東京都での柔道関連施設の視察及び宮崎県延岡市でのホームステイや学校交流を通じ、日本への理解を深めるとともに、参加者同士が交流を深めてネットワークを強化します。さらに、スポーツを通じた交流を通じて参加者に日本の魅力を積極的に対外発信してもらうことを目的として実施しました。

【参加者】米国の柔道関係者 計4名
(内訳) 大学生2名、大学院生1名、社会人1名

【訪問地】東京都、宮崎県

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

10月5日（木曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

10月24日（火曜日）羽田空港より入国

10月25日（水曜日）【視察】国立競技場

【視察】明治神宮、原宿（ポップカルチャーの視察）

【視察】講道館

10月26日（木曜日）東京都から宮崎県へ移動

【表敬訪問】宮崎県延岡市長 読谷山 洋司氏

10月27日（金曜日）【スポーツ交流】学校法人延岡学園 延岡学園高等学校 柔道部

【学校交流】学校法人延岡学園 延岡学園高等学校 調理科

【文化体験】坐禅体験（普門寺）

【ホストファミリー対面式・ホームステイ】宮崎県延岡市

10月28日（土曜日）【スポーツ交流】学校法人延岡学園 延岡学園高等学校 柔道部

【農業体験】ミカン狩り（マリちゃん農園）

10月29日（日曜日）【スポーツ交流】学校法人延岡学園 延岡学園高等学校 柔道部

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画
（アクション・プラン）の作成）

【ホストファミリー歓送会】

10月30日（月曜日）大分県から東京都へ移動

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

10月31日（火曜日）【視察】浅草

成田国際空港より出国

2. 記録写真

	
10月25日【視察】国立競技場	10月25日【視察】講道館
	
10月26日【表敬訪問】宮崎県延岡市長 読谷 山 洋司氏	10月27日【スポーツ交流】学校法人延岡学園 延岡学園高等学校 柔道部
	
10月27日【学校交流】学校法人延岡学園 延岡学園高等学校 調理科	10月27日【文化体験】坐禅体験

	
10月28日【農業体験】ミカン狩り（マリちゃん農園）	10月29日【スポーツ交流】学校法人延岡学園 延岡学園高等学校 柔道部
	
10月29日【ホストファミリー歓送会】	10月30日【報告会】

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

柔道交流、講道館内の資料館、国立競技場スタジアム等すべてのプログラムが素晴らしかったです。身体が硬い私にとって座禅体験は少し辛かったですが、それでも素晴らしい体験となりました。

◆ 大学院生

延岡高校柔道部が練習中どれほど結束していたかに非常に感銘を受けました。部長は、チームをリードするだけでなく、より良い人材を育成する手助けをするという信じられないほどの仕事をしていました。

◆ 大学生

街や山々を美しく見せるために、驚くほどの努力が払われていて、すべてがとても自然で美しいです。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先

参加者の皆様は、弊館を訪れたことで、現在世界の200を超える国と地域で親しまれている柔道のルーツや様々な柔道に関するトピックを学んでいただけたかと存じます。今回のプログラムに参加されたことで得られた経験を自国での柔道への取り組みに還元していただければ幸いです。

5. 参加者の対外発信、報道記事等（抜粋）

	
2023 年 10 月 29 日（Facebook） 日本に来たこの機会に感謝しています。日本を存分に満喫中です。日本のニュース番組にも取り上げられました。	2023 年 10 月 29 日（Facebook） ここの高校生はとても強い。 延岡学園高等学校、本当にありがとう！
米国の柔道選手、延岡学園高でスポーツ交流 2023年10月27日 17:02更新 米国で柔道を学ぶ18～31歳のアマチュアトップレベル選手らによるスポーツ交流が27日、延岡市で始まった。同市・延岡学園高柔道部（佐藤嘉剛監督、25人）の選手とともに汗を流すほか、ホームステイを行うなど日本文化も体験する。29日まで。...  延岡学園高柔道部で練習する米国の大学生（左）	2023 年 10 月 27 日（デジタルタ刊ふれみや） 米国の柔道選手、延岡学園高でスポーツ交流

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

全 2 グループが発表

	Experiences - National stadium - Kodokan - Meiji jingu - Shibuya - Homestay - Nobeoka Judo/Cooking Club - Tangerine Picking (Marichan Farm) - Zazen 
【訪日中の学び】 ・多くの伝統・文化・風習が存在するだけだな	【訪日中の学び】 ・米国でも和食が食べられる機会は多くありま

く、それらが何世代も引き継がれている理由があることが分かりました。（箸の使い方、ゲン担ぎ等） ・都会であっても自然との調和を尊重しており、地方においても環境保全と街づくり・発展を同時進行で行っていることを学びました。 【テーマ（柔道）の学び】 ・柔道が生まれた日本の講道館で柔道の歴史について勉強することができ、柔道がどのように誕生し広まったか学ぶことができました。 ・日本の高校生に教えられている基本的な柔道の動きや細かい技術、昔からの練習方法について勉強することができました。米国で教わっていた方法と大きく異なる技術（グリップ法など）もあり、自分の柔道技術を向上させてくれるよい機会になると思いました。 【アクション・プラン】 各自が滞日中に撮った写真や映像を SNS に挙げながら、ハワイやカリフォルニアにある自分たちの学校や柔道クラブ・協会に日本で得た経験と教訓を共有します。既に SNS での共有を通して、柔道仲間が他の人に私たちが挙げたストーリー等をシェアしてくれています。帰国後も定期的に情報を拡散し、年内に来年以降のトレーニングメニューについて柔道クラブの先生達に相談する予定です。このプログラムについて家族や仲間に共有することで、少しでも日本の魅力について、そして柔道が如何に素晴らしい競技であるかを広めていきたいと思っています。	すが、こんなに安く、ハイクオリティーな和食が食べられるとは思っていませんでした。日本ならではの定食や丼ぶりもおいしかったです。それ以上に醤油やワサビの質が桁違いでした。 ・今回のプログラムは出会いに満ちていました。知らなかった日本の文化や食事に出会ったのをはじめ、ミカン狩りで出会った老夫婦、学校交流であった明るい生徒たち、そしてホームステイで受け入れてくれた「お母さんとお父さん」、誰とどこで会っても皆親切で、日本ほど言葉の壁を越えて仲良くなれる国はないと思いました。 【テーマ（柔道）の学び】 ・体重がすべてではないと改めて知ることができました。色んなグリップ方法で確実に相手の動きを抑制し、自分の領域に入ってから「自分の柔道」をとる精神について身をもって学ぶことができました。 ・米国でよく見る、技ありを取りながら確実に勝利をつかみに行く柔道と違い、負けてもいいから一本を目指していく日本人選手の闘魂に触れる事ができ、気合の入れ方の違いを知ることができました。 【アクション・プラン】 ・帰国と同時に SNS と口頭で、家族や友人、同級生などに日本での経験（見たもの、食べたもの、出会った人等）を共有し、少しでも私たちが惚れ込んだ日本について知ってもらいます。 ・それぞれの地元（ニューヨーク、カリフォルニア）の道場で日本流柔道練習を共有します。実際の技術だけでなく、練習開始時の掛け声・気合の入れ方についても共有し、より身が入った練習ができるようにしていきたいです。
---	--

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）